

総合研究所紀要(No.6まで)

氏名	職名	巻数	題 目
向山 巖	経済学部教授	6	練馬区の住宅問題についての一考察
美田 和人	東京都三宅支庁産業課 農務係長	6	生産緑地指定以降の東京都農業の構造 - 1995年農業センサス速報値の分析 -
美田 和人	東京都三宅支庁産業課 農務係長	6	改正生産緑地制度下に対応する農家経営強化に関する研究 - 練馬区大泉農協新鮮組合の事例分析 -
白水 繁彦	人文学部教授	6	エスニック・コミュニティの情報文化 - 群馬県大泉町のブラジル人コミュニティの事例を中心に -
林 義樹	人文学部教授	6	参画理論と情報システム
竹迫 和代	株式会社計画技術研究所	6	大学生による生涯学習志向の“学びの場”の学外創造 ～『参画大学・武蔵町おこしプロジェクト』の実践から～
竹迫 和代	株式会社計画技術研究所	6	参画型活動を通じた学生の自己形成プロセスに関する研究 ～生涯学習につながる”学び観”の育成をめざす大学教育の創造～
直井 一博 馬場 哲生	人文学部助教授 東京成徳短期大学助教授	6	大学生の英文理解の実態調査: 武蔵大学を中心として
杉田 弘子	人文学部教授	6	音楽のメタファーとしてのヴェネツィア - ニーチェの場合 -
大野 淳一	人文学部教授	6	「越後様」と「諏訪の森」 - 「漱石全集」の注釈から
大野 淳一	人文学部教授	6	「韓」の独立をめぐる - 「漱石全集」の注釈から
大野 淳一	人文学部教授	6	大野研究プロジェクト実施報告書
白水 繁彦 アンジェロ・A・イン	人文学部教授	5	変動期のエスニック・メディア - ブラジルの日系新聞の現状と問題点 -
高橋 紘一	総合研究所	5	“バブル”下の練馬区民 - 「練馬区総合データベース」構築の試みから
直井 一博	人文学部助教授	5	大学生を対象とする英文読解指導とその評価に関する一考察
竹迫 和代	株式会社認知科学研究所	5	大学教育における『参画型学習システム』開発のコンセプトに関する考察 - 大学教育と現代学生の現状分析をふまえて -
山口 ふみ	地域科学研究会高等教育 情報センター	5	大学教育における参画型思考支援ツールの評価実験研究 - 手作業とコンピューターとのラベル思考の比較 -
西澤 治彦	人文学部助教授	4	「蕃瓜弄棚屋」訪問記 - 上海における蘇北人居住区
大野 淳一	人文学部教授	4	『三四郎』の東京, 『青年』の東京 - 『三四郎』の注釈から -
及川 賢	東京学芸大学	4	短期大学における多読指導

氏名	職名	巻数	題 目
Wesley Ueunten	法政大学沖縄文化研究所	4	OKINAWA MUSIC AND IMAGES OF OKINAWA
アラノーマルク リュウ 清水 誠 訳	リヨン第三大学哲学科教授	4	哲学の内と外
向山 巖	経済学部教授	4	向山研究プロジェクト実施報告書
佐野 晃	人文学部教授	4	佐野研究プロジェクト実施報告書
加藤 三郎	経済学部教授	3	東京一極集中をめぐる政策
小沢 辰男	名誉教授	3	首都機能移転問題について ―首都移転法の成立―
嶋 澄	人文学部教授	3	東京の人口集中 ―都市化の面から考える―
向山 巖	経済学部教授	3	東京一極集中と特別区の住宅問題 ―高齢者の住宅問題を中心に―
後藤 光蔵	経済学部教授	3	「農業のあるまちづくり」について
高橋 紘一	総合研究所	3	巨大都市東京の高齢者の生活(3・おわり)
佐野 晃	人文学部教授	3	ロンドン郊外住宅のイデオロギーとヴィクトリア朝中産階級のエートス
向山 巖	経済学部教授	2	東京一極集中と都区の財政
高橋 紘一	研究情報センター	2	巨大都市東京の高齢者の生活(2)
藤村 正之	人文学部助教授	2	メディアと記号による<空間>編成 ―リアリティ感覚の変容する文化状況―
私市 保彦	人文学部教授	2	バルザック『人間喜劇』の中のパリから ―「窓」と「追跡」―
小沢 辰男	経済学部教授	1	東京の経済 ―一極集中問題を考える―
向山 巖	経済学部教授	1	東京一極集中と特別区 ―高齢化の視点から―
嶋 澄	人文学部教授	1	マーケティングの一側面からみた“東京問題”
高橋 紘一	研究情報センター	1	巨大都市東京の高齢者の生活(1)
私市 保彦	人文学部教授	1	バルザック『人間喜劇』の中のパリから ―「窓」と「追跡」―
平林 和幸	人文学部教授	1	象徴としてのエッフェル塔 ―アポリネールの場合―